



能登

細かい部分まで再現された華やかな「でか山」の模型＝七尾市津向町のエレガントなぎの浦で



割りばしからでか山

七尾の68歳・青木さん模型作り

七尾市で五月三日から同五日まで開かれる青柏祭の山車「でか山」を割りばしなどで再現した模型が、同市津向町の特別養護老人ホーム「エレガントなぎの浦」で展示され、施設利用者にも見られている。同十五日まで、模型を施設入り口に飾った。

制作したのは同市万行町の青木敏男さん(68)。会社を退職後、認知症予防にと取り組み、写真や本を参考に割りばしで骨組みを作り、木の廃材と色紙で人形を仕上げるなど、家にあるものを工夫し

て二年がかりで完成させた。でか山は高さ約六十メートル、実際の祭りと同じように三基ある。山に載せる人形やまくは彩り豊かで華やかな青柏祭の山車「でか山」を当初は自宅で展示し、再現実した模型が、同市津向町の特別養護老人ホーム「エレガントなぎの浦」で展示され、施設利用者にも見られている。同十五日まで、模型を施設入り口に飾った。

制作したのは同市万行町の青木敏男さん(68)。会社を退職後、認知症予防にと取り組み、写真や本を参考に割りばしで骨組みを作り、木の廃材と色紙で人形を仕上げるなど、家にあるものを工夫し

(寺本康弘)